

## 6-1 御岳山南東の地震活動 (1995年)

### The 1995 seismic activity in the south-eastern foot of Mt.Ontake

名古屋大学理学部

School of science, Nagoya University

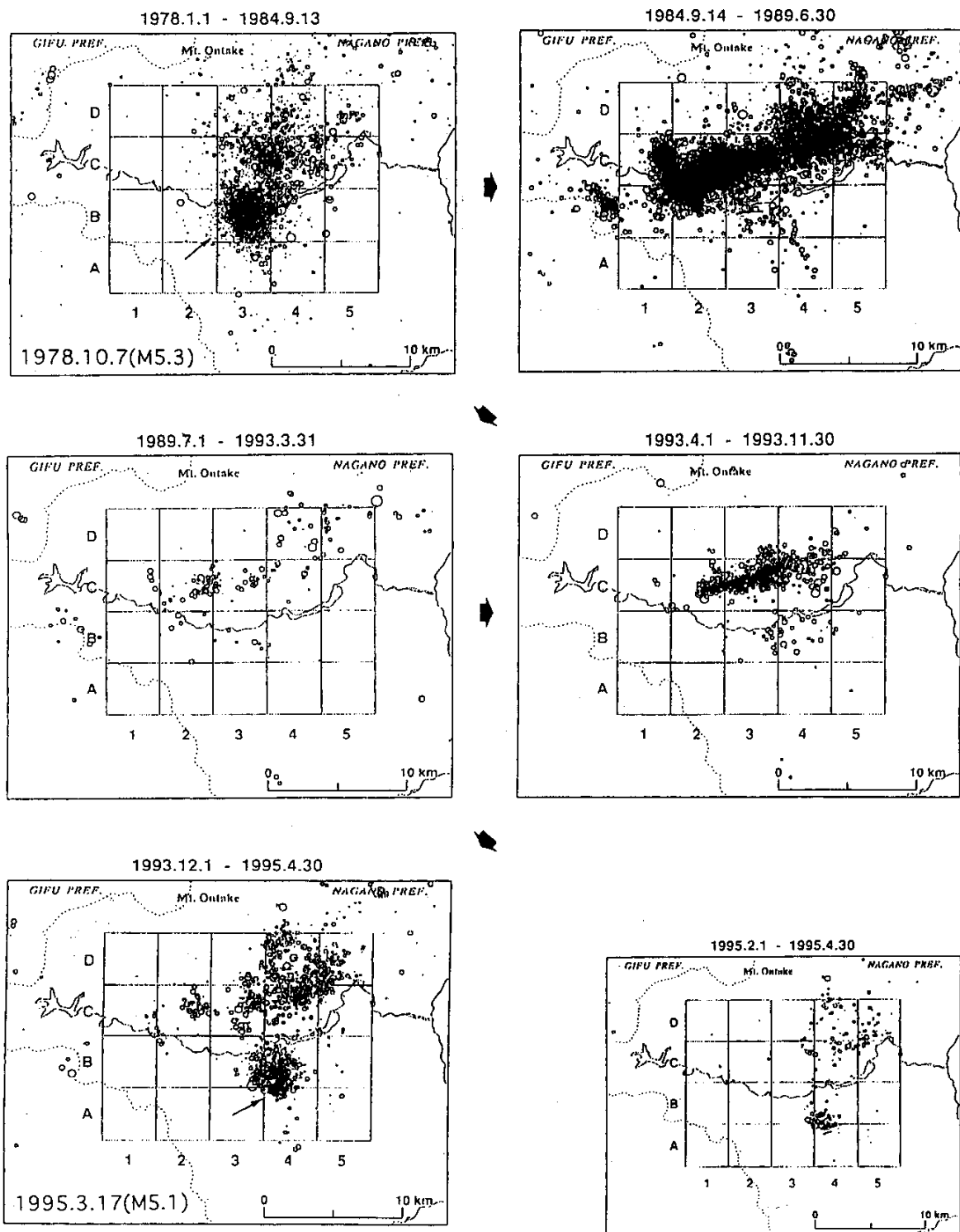
御岳山南東の地震活動について 1993 年までの活動については前報<sup>1)</sup>にまとめたが、その後の活動について述べる。

この地域の活動は御岳湖 (王滝川) にほぼ平行で 4 km ほど北のラインによって北側と南側の活動に分かれている。1976 年以來の群発地震活動は北側の部分で始まり、その後南側でも活動が始まった。1978 年 10 月 7 日に南側で発生した M5.3 の地震は多くの余震を伴ったがこれらの余震活動は北側の群発地震活動と独立に順調に減衰し 1982 年頃には殆ど活動が停止したかに見えた。1984 年 9 月 14 日の長野県西部地震 (M6.8) はこの境界線の北側で境界に沿って発生し多くの余震を伴ったが、南側での活動はなかった<sup>2)</sup>。その後は北側にくらべて南側の活動は極端に低かったが、1993 年後半からやゝ活動的になり、1994 年には南側の活動が活発になってきている。しかし、最近の南側の地震活動域は 1978 年 10 月の活動域にくらべ、その中心が南東に数 km 移動している。活動域の広がりも小さいように見えるが、1978 年当時よりも名古屋大学理学部の地震観測網の密度が上がっているため単純な比較は出来ない。この南側の活動域において 1995 年 3 月 17 日に M5.1 の地震が発生し余震活動を伴っている。なおこの地震には顕著な前震活動は見られなかった。

第 1 図に 1978 年以來の活動を活動の変化が見易い時期で区切って示した。

#### 参 考 文 献

- 1) 古屋大学理学部：御岳山南東の地震活動 (1993)，連絡会報，**50** (1993)，132-140.
- 2) T. Ooida, F. Yamazaki, I. Fujii, H. Aoki : Aftershock Activity of the 1984 Western Nagano Prefecture Earthquake, Central Japan, and its Relation to Earthquake Swarms. *J. Phys. Earth*, **37** (1989) 401-416.



第1図 御岳山南東における地震活動の空間的変化。右下に最近3カ月の活動をしめす。

Fig. 1 The variation of seismic activity since Jan. 1978 to Apr. 1995 in the south-eastern foot of Mt. Ontake. Shown in the lowest right is the epicenter distribution of earthquakes in the recent three months.